

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成 29年 5 月 11 日

計画の名称	1 生きがいと魅力ある住みよい都市姫路		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	姫路市
計画の目標	世界文化遺産姫路城を擁する姫路市の都心部は、本市を代表する都市イメージを形成・発信するとともに、古来より播磨の商業・業務・交通の中心としての役割を果たしてきた。しかし、近年、社会経済情勢の変化や市民意識の変化などにより、今日まで果たしてきた役割がみられるようになってきた。このことから歴史、文化のある中心市街地を再生することは姫路市の持続可能な発展からも急務であり、平成20年には中心市街地活性化協議会が設立され、行政、地元が一体となった取り組みにより都心回遊の拡大や都心居住の促進を進めている。このような中、都市再生整備計画事業による都市機能の更新や魅力ある都市空間の整備、中心市街地の移動利便性の確保、空き店舗等既存ストックを有効に活用した商業機能の強化等を、地元まちづくり活動との連携のもと推進し、快適で魅力ある中心市街地の再生を目指す。 また、本市の特性にふさわしい姫路スタイルのコンパクトシティとして、「多核連携型都市構造」を構築する高次機能を有し、姫路城を含む姫路公園や広域防災拠点である手柄山中央公園が存在する都心部と、地域防災に配慮しつつ公園を代表とする水と緑など環境に配慮した快適で安心な複数のコンパクトで充実した地域生活圏を形成するとともに、公共交通機関等を充実しこの地域生活圏相互や都心部への移動利便性を向上することにより交流と連携を促進し、市民生活の質の向上と持続可能な都市の実現を目指す。		

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・JR姫路駅観光案内所利用者数を348千人/年（H21）から362千人/年（H26）に増加 ・中心市街地における歩行者通行者数を74,635人/日（H21）から85,800人/日（H26）に15%増加 ・震災時の一時避難場所等として役割のある住区基幹公園の1人当たりの整備面積を3.41㎡/人（H22）から3.49㎡/人（H26）に増加 ・手柄山中央公園の利用者数を1,592千人/年（H21）から1,831千人/年（H26）に15%増加 ・姫路市内30駅の鉄道乗降客数を維持する。（平成20年度を基準年次とする。）
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① JR姫路駅観光案内所における利用者数を測定する。	348千人/年	355千人/年	362千人/年	
② 中心市街地における休日の歩行者通行量（7箇所の合計）を測定する。	74,635人	80,000人	85,800人	
③ 震災時の一時避難場所等としての役割もある住区基幹公園（姫路市全域）の1人当たりの整備面積を測定する。	3.41㎡/人	3.46㎡/人	3.49㎡/人	
④ 中心市街地内の代表的な公園で、姫路球場が存在する手柄山中央公園における年間利用者数を測定する。	1,592千人	1,672千人	1,831千人	
⑤ 姫路市内全鉄道駅（30駅）の年間乗降客数を測定する。 (市内全駅の1日あたり乗降客数) = (市内全駅の年間乗降客数) / (当該年度の日数)	112,700人/日	112,700人/日	112,700人/日	

全体事業費	合計 (A+B+C)	15,225 百万円	A	14,804 百万円（うち提案事業分 607 百万円）	B	360 百万円	C	61 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	4.4%
-------	---------------	------------	---	-----------------------------	---	---------	---	--------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
姫路市において目標の達成状況と指標の達成状況を確認。	平成29年3月
	公表の方法
	姫路市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	都市再生	一般	姫路市	直接	姫路市	姫路市都心地区都市再生整備計画事業	A=450ha	姫路市						302	
1-A-2	都市再生	一般	姫路市	直接	姫路市	姫路駅南地区都市再生整備計画事業	A=360ha	姫路市						1,679	
1-A-3	都市再生	一般	姫路市	直接	姫路市	網干南地区都市再生整備計画事業	A=606ha	姫路市						111	
1-A-4	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	都市公園事業（書写東公園）	地区公園4.9ha（整備面積4.0ha）	姫路市						957	
1-A-5	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	英賀保駅周辺地区緑化重点地区総合整備事業	近隣公園1.1ha	姫路市						573	
1-A-6	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	阿保周辺地区緑化重点地区総合整備事業	近隣公園1.1ha	姫路市						164	
1-A-7	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	姫路市公園施設長寿命化計画策定	事業対象580公園	姫路市						38	
1-A-8	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	姫路市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	事業対象41公園（姫路球場含む）	姫路市						2,940	
1-A-9	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	都市公園事業（天満公園）	地区公園6.0ha（整備面積2.5ha）	姫路市						770	
1-A-10	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	都市公園事業（手柄山中央公園）	総合公園42.9ha（整備面積1.5ha）	姫路市						611	
1-A-13	都市交通	一般	姫路市	直接	姫路市	姫路駅周辺都市交通システム整備事業	計画策定	姫路市						4	

1-A-15	都市交通	一般	姫路市	直接	姫路市	JR播但線溝口駅周辺都市交通システム整備事業	駅前広場 A=約2900㎡	姫路市											294
1-A-16	都市交通	一般	姫路市	直接	姫路市	山陽電鉄本線白浜の宮駅周辺都市交通システム整備事業	駅前広場 A=約2600㎡ エレベーター等	姫路市											291
1-A-17	都市再生	一般	姫路市	直接	姫路市	姫路駅周辺地区都市再生整備計画事業	A=54ha	姫路市											3,073.7
1-A-18	都市交通	一般	姫路市	直接	姫路市	JR播但線香呂駅周辺都市交通システム整備事業	駅前広場 A=約1,700㎡	姫路市											280
1-A-19	都市交通	一般	姫路市	間接	(株)姫路駅ビル	姫路駅周辺地区都市・地域交通戦略推進事業	地下街整備 A=約6,900㎡	姫路市											900
1-A-20	都再区画	一般	姫路市	直接	姫路市	JR網干駅前都市再生区画整理事業	緊急防災空地 A=約3000㎡ 区画 A=約5.1ha	姫路市											488
1-A-21	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	都市公園事業（糸引公園）	地区公園6.0ha(整備面積2.0ha)	姫路市											309
1-A-22	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	都市公園事業（御立公園）	近隣公園2.4ha	姫路市											194
1-A-23	都市交通	一般	姫路市	間接	JR西日本	JR御着・姫路間新駅整備事業	駅施設整備A=0.7ha	姫路市											665
1-A-24	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	姫路市公園施設長寿命化対策支援事業	下野田公園他65公園221箇所における公園遊具の改築等	姫路市											160
合計																		14,804	

B 関連社会資本整備事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考						
									H22	H23	H24	H25	H26								
1-B-1	道路	一般	姫路市	直接	姫路市	JR播但線溝口駅周辺道路整備事業	踏切幅 W=11.65m 道路改良 L=210m	姫路市											306	関連法案 道路法第二条第一項	
1-B-2	道路	一般	姫路市	直接	姫路市	山陽電鉄本線白浜の宮駅周辺道路整備事業	道路改良 L=70m 道路築造 L=40m	姫路市												30	関連法案 道路法第二条第一項
1-B-3	道路	一般	姫路市	直接	姫路市	JR播但線香呂駅周辺道路整備事業	道路改良 L=80m	姫路市												24	関連法案 道路法第二条第一項
合計																		360			

番号	一体的に実施することにより期待される効果																	
1-B-1	JR播但線溝口駅周辺都市交通システム整備事業(1-A-15)と一体的に実施することにより、地域と連携した効果的な市街地の再生を推進する。																	
1-B-2	山陽電鉄本線白浜の宮駅周辺都市交通システム整備事業(1-A-16)と一体的に実施することにより、地域と連携した効果的な市街地の再生を推進する。																	
1-B-3	JR播但線香呂駅周辺都市交通システム整備事業(1-A-19)と一体的に実施することにより、地域と連携した効果的な市街地の再生を推進する。																	

C 効果促進事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考						
									H22	H23	H24	H25	H26								
1-C-4	施設整備	一般	姫路市	直接	姫路市	姫路駅周辺公共駐車場整備事業	既存施設改修設計	姫路市												6	
1-C-5	社会実験	一般	姫路市	直接	姫路市	都心部まちづくりのための社会実験	広場空間活用及び自転車利用等の社会実験	姫路市													55
合計																		61			

番号	一体的に実施することにより期待される効果																	
1-C-4	姫路駅周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-17)と一体的に実施することにより、姫路駅周辺の公共駐車場を需要に合わせた利用ができる自走式にリニューアル改修し、中心市街地の賑わいをより一層高める。																	
1-C-5	姫路駅周辺地区都市再生整備計画事業(1-A-17)と一体的に実施することにより、広場空間活用や自転車利用の社会実験及び計画検討調査し、駅前における歩行者及び自転車優先のまちづくりを進め中心市街地の賑わいをより一層高める。																	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・大手前公園や手柄山中央公園等の都心地区の主要な観光地の魅力向上、町家の流通の促進、またエアロフ姫路・兵庫世界大会の市民参加型イベントへの支援の直接的効果に加え、道路整備など観光しやすい環境整備が図られ、年間観光入込客数が増加した。 ・姫路駅周辺地区都市再生整備計画事業による姫路駅周辺整備、姫路駅周辺地区都市・地域交通戦略推進事業の推進による地下街整備によって駅周辺の回遊性が向上した。 ・御立公園などの整備が進み、一時避難場所としての役割もある空間の確保が図られた。 ・山陽電鉄本線白浜の宮駅のエレベーター設置などにより鉄道駅利用の利便性が高まった。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（JR姫路観光案内所利用者数の増加率）	最終目標値	362千人/年	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	392千人/年		
	指標②（中心市街地における歩行者通行量の増加率）	最終目標値	85,800人	目標値と実績値に差が出た要因	姫路駅北駅前広場が順調に整備され、周辺の商業施設等においても集客が見られるが、整備計画期末の平成26年度においても姫路駅周辺の面整備が継続されており、道路規制等の影響で、歩行者を十分に街なかまで誘引できなかったため。
		最終実績値	73,227人		
	指標③（住区基幹公園の1人当たりの整備面積の増加値）	最終目標値	3.49㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	3.49㎡/人		
	指標④（手柄山中央公園の利用者数の増加率）	最終目標値	1,831千人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	1,876千人		
	指標⑤（姫路市内30駅の鉄道駅乗降客数の推移）	最終目標値	112,700人/日	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	117,300人/日		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・姫路駅周辺地区都市再生整備計画事業の実施に伴う、まちづくりワークショップ及び専門家による検討会議等を通じて、姫路駅北駅前広場等で市民参加型のイベントが開催され、市民の手によりまちづくりをスタートすることができた。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・市民参画による駅前空間の利活用促進を通じ、今回事業の効果を持続させる必要がある。 新たな課題として、中心市街地全域への魅力の波及やイベントゾーン付近での新たな賑わい拠点の創出があげられることから、時期計画において、大手前通り再整備の延長、JR姫路駅南側の整備、イベントゾーンの整備等を行う。 ・手柄山中央公園内に姫路球場が完成したことにより、周辺施設の利用者も増加した。 					

(参考様式3) (参考図面) 市街地整備

